

名古屋名南ロータリークラブ

■承認/1991年3月8日 ■例会日/火曜日・PM6:30 ■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル
 ■会長/山本 郁矢 ■幹事/入谷 直行 ■会報・雑誌・広報委員長/細井 俊男
 ■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル 2202号
 TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために
 2011-2012年度 RI 会長 カルヤン・パネルジー

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail info@meinan-rotary.com

第977回

2011年11月8日(火) 晴 第18回

～ ローター財団月間～

斉唱 それでこそロータリー
 出席 会員63名(出席率算入人数56名)
 出席47名 出席率83.93%
 前々回補填率98.21%(10月25日分)
 ゲスト 米山奨学生 キム・ウォンギョンさん

11月の誕生日

2日 野々村憲吾さん 5日 鈴木 清詞さん
 5日 黒田 康正さん 7日 猪村 美之さん
 10日 東山 直史さん 16日 鈴木 享さん
 21日 吉木 邦男さん

配偶者誕生日

1日 榊原 明枝さん 1日 川瀬 和子さん
 13日 田中 裕子さん 15日 江上たづ子さん
 17日 出田 郁さん 18日 本多 慶子さん
 18日 杉本 幸子さん

11月の結婚記念日

2日 水野 俊男さん 3日 田中 省三さん
 5日 田中 一雄さん 8日 伊藤 圭一さん
 8日 鈴木 一博さん 8日 江上 隆夫さん
 10日 安藤 修さん 13日 児島 徳和さん
 16日 鈴木 清詞さん 26日 榊原 和美さん
 30日 長尾 浅吉さん

会長あいさつ

会長 山本 郁矢さん

皆様、こんばんは。

本日はキム・ウォンギョンさんが当クラブを訪ねてくれました。彼女は、博士課程の博士論文を提出したばかりで、今が一番ドキドキの時期のようでございます。ごゆっくりご歓談いただければと思います。



本日は、暦で言えば立冬という事で、いよいよ朝晩が冷え込む時期になって参りました。体を大切にさせていただきたいと思います。

先般、皆様にご披露申し上げましたが、11月19日・20日と地区大会がございます。20日に我々名南RCは、会員増強拡大賞維持賞の表彰があります。

さらに、東日本大震災義援金も皆様にご協力をお

願いたいと思います。

また「ロータリーの軌跡と展望及びロータリーの基本についての解説」という冊子が、地区研修委員会から出ております。ご興味がある方は事務局までお申し込み下さい。

幹事報告

幹事 入谷 直行さん

1. 榊原和美さんから出席免除の申請が出ており、理事会で承認されました。満年齢+ロータリー歴で85を満たされました。
2. 地区大会の名札とパンフレットを出席袋に入れています。全員登録となっていますので、ご欠席されても登録料をなるべく速やかに振込いただきますようお願いいたします。
3. 三浦隆さんより海外出張届けが出ております。イタリアへ、11月6日～17日です。

ニコボックス

◆ 今日は卓話です。よろしくをお願いします。

吉木 邦男さん

◆ 吉木邦男さんの卓話を楽しみにしています。

児島 徳和さん 杉本 勇さん 田中 一雄さん
 林 隆二さん 木下 福郎さん 武藤 正行さん
 細井 俊男さん 三浦 和人さん 小野 雅之さん
 久米 伸治さん 田中 省三さん 山本 郁矢さん
 本多 利郎さん 加藤 英敏さん 江松 央統さん
 山本 誠一さん 坂田 信子さん 三島多恵子さん
 鈴木 一博さん 大平 明子さん 中村 勝さん
 安藤 修さん 川村 繁生さん 川瀬 悟さん
 野々村憲吾さん 水野 俊男さん 森田敏二さん
 榊原 和美さん 伊藤 博昭さん 宮崎 良一さん
 東山 直史さん 川辺 清次さん 佐々木元彦さん
 浅井 浩さん 長尾 浅吉さん 杉山 隆秀さん
 猪村 美之さん 朝比美和子さん

◆ 和合のシニアチャンピオン予選を5位で通過しました。13日に親友とマッチプレーです。 入谷 直行さん

本日合計 43,000円 累計 647,000円

委員会報告

■ ローター財団委員会 委員長 東山 直史さん
 地区から届いております案内です。インドのポリオワクチン投与活動への参加募集です。日程は来年

2月、4泊6日又は6泊8日で、4泊6日であれば約25万円前後の予定です。申し込み期日が12月15日までです。事務局までお申し出下さい。

また、今月は財団月間です。ロータリーの年次寄付、10,000円以上を宜しくお願いいたします。

ポール・ハリス・フェローですが、私共は創立以来、入会時に1,000ドルのご寄付をお願いしております。全員のポール・ハリス・フェローという事で財団からも表彰をいただいた経緯もございます。これは強制ではございませんが、新入会員、数年前のご入会の方でご厚意がございましたら、宜しくお願いいたします。

■親睦活動・家族委員会 委員長 本多 利郎さん

忘年家族会のご案内です。日時は、12月22日(木)、午後6時～午後8時30分です。場所は、名古屋マリオットアソシアホテル16階「タワーズボールルーム」です。会費は、会員は無料、ご家族の方は10,000円、お子様で食事される方は10,000円、子供用の食事は4,000円、食事不要の方は無料です。締め切りは、11月29日(火)必着で、事務局までお願いします。

会 員 卓 話

■吉木 邦男さん

自分の仕事が歯科医師ですので、今、歯科医療が行っている現状と、歯科医療というのが皆様方にどういう影響があるかをまとめてみました。

歯科がどこをターゲットにしているかと言いますと、顎関節の機能、歯、それを取り巻く歯周組織、この辺が治療の中心となります。最近では、噛み合わせや、体のバランスにどんな影響が起きるかとか、口腔内細菌が他疾患にどういう影響を与えるか、という事も治療の範囲として拡がりつつあります。

現在の歯科治療は、虫歯、歯周病、噛み合わせの3つの治療を行っています。

まず、虫歯治療ですが、食べかすが歯を溶かし、酷いと歯を失います。

次に、歯周病ですが、歯というのは歯肉の厚みが生え際で4mm位です。骨によって歯牙が支えられています。歯茎が支えている訳ではありません。歯は歯茎によって支えられている様に見えますが、周辺の支持骨を失った状態が歯周病です。歯肉によって歯は支えられているのではなく、歯槽骨、歯槽突起と呼ばれている骨によって支えられています。

噛み合せの1つの例ですが、口が約14mmしか開けられない方がいました。口を開けたいのだけれど顎が痛くて開口できないというのは、関節部分の炎症です。そのような部分を、ある程度機能回復し、食べられるようにし、自然感を取り戻すという事が治療行為です。

歯牙や支えている骨は、歯があるから周辺に骨が残ります。歯が生えてくる事によって歯槽突起と言われる骨ができます。歯を失うと周辺の骨の意味はありませんから、必然的に骨は下がっていきます。そうしますと、非常に寂しい形態ですが、そこに人工物が入ると、またいきいきします。何が変わるかと言うと、顔の長さが変わります。歯を失う事に

よって、顔貌、美しさやいきいきした状態という見た目の部分も失います。なるべくこういうものを取り戻したいというのが、昔から言われている歯科治療です。

また、上下とも歯のない方がいました。そうしますと、どうしても周辺の筋肉も活性化せずたるんだ状態です。そこに機能回復で入れ歯を入れる事によって、もう一回社会復帰できないか。物を食べて栄養を捕る事だけが目的では無く、健康な社会生活をもう一回送ろうという意味合いが、歯科治療にはあります。

何となく顔のバランスが悪い場合も、それを治療する事で、表情がいきいきとしてきます。目の高さや口角、周辺の筋肉が活性化してくるからです。そうする事で若返ります。

奥の方に歯がない方は、人工の根っこによって取り戻して治療しました。65歳の時に治療し、現状で79歳位です。奥で噛めるという事はいつまでも表情もいきいきします。

機能回復して、健全な社会生活が送れるようにする事と併せて、できれば口元の改善をする事で、少し自信を持てるようになれば、というような事が従来の治療のターゲットでした。

では、虫歯、歯周病の主な原因とは一体何でしょうか。老化が歯周病の全てでしょうか。病気には必ずその原因があり、歯周病には歯周病菌、虫歯には虫歯菌、その特性的な菌がある訳です。その菌による細菌感染が起き、それが炎症を起こし、虫歯や歯周病を呼び起こします。

いつから感染するかですが、赤ちゃんが生まれると、お母さんから口移しをしたり、祖父母から固い食べ物を少し咀嚼して軟らかくしたものをあてがいます。産まれてきた時、口腔内に菌はありませんが、そういう所から感染が起きます。

虫歯菌はミュータンス菌が代表されます。ミュータンス菌は、砂糖によって非常に粘り気を持った性状になります。それが口腔内にへばりついて、食べかすのような物を作ります。それを染め出してみると歯にべったりとついています。

現在、成人の約80%が歯周病に既に罹患していると言われていています。現在、歯を無くす原因は、ミュータンス菌による虫歯によって無くす原因を超えて、歯周病が第1位の原因です。歯周病も細菌感染です。55歳以上になりますと、歯周病が原因で歯を無くす割合が非常に高くなります。この年齢になりますと、歯周病菌とは一体どういうものかを理解し、それに個々に対応する事が必要になります。

歯周病に罹患した口は、治療をし、患者さんの努力によってプラークや汚れを歯ブラシで取ります。患者さんが自覚して自立して取ります。そうすると健全な状態に戻ります。

健全な状態のレントゲンで骨がどの辺まで支えているかと言いますと、大体6歳の時に頭を出す歯は、12歳で生えきります。生え揃うのが大体20歳前後です。この状態で大体30歳位までいきます。ところが、一度歯周病に罹患しますと、これだけの骨を無くします。歯茎は腫れっぽく見えませんが、骨がありません。これは炎症を起こしている歯周病という事になります。

昔、食べかすと言っていました。歯苔と呼び名が変わり、プラークとなり、ごく最近ではバイオ



フィルムという呼び方になっています。それは、中が一体どういふばい菌によって織りなされているか、という事が、この呼び方の変遷になります。

まず、プラークの時は、細菌の凝集体であろうという意識がありましたが、1999年の「サイエンス」という科学誌にバイオフィームという言葉が紹介されました。口腔内の細菌は1種類ではなくて、歯周病菌というのは非常に多数の細菌が織りなしています。そして、僕達が持っている白血球、リンパ球に対して、もしくは、歯ブラシの洗浄力やフッ素や色々なお薬に対してディフェンスをします。ですから、どんな抗生剤、抗菌剤を飲んでも歯周病菌にはほとんど効きません。抗生剤を飲んで他の炎症は取れるかも知れませんが、バイオフィームが介在する口腔内における炎症は、お薬では取れません。

歯と歯肉の間にすき間があって、そこに食べかすとかばい菌が沢山います。その部分にバイオフィームというように形で、細菌がスクラムを組んで色々な部分から抵抗をしています。よく歯医者さんで歯石を取れば大丈夫と言われますが、ここを一生懸命きれいにしても、歯周病はここにはありません。歯石が悪いのではなく、歯石が付いて歯周病菌が沢山居やすくなると良くないので、歯石を取りましょうと言うのは、あくまで見た目をきれいにするだけで、取らなければいけないのは、歯肉の中の歯石です。

ですから、歯医者さんで半年に1回1時間のクリーニングをしていて、健康管理ができていくというの間違いで、1日或いは1時間で歯肉の中の歯石は取れません。歯肉の中の歯石は、麻酔して丁寧に丁寧に取らないと取れません。歯石を取ることは歯周病を予防する事ではありません。歯肉の中にあるバイオフィームが歯肉に炎症を起こしていても、その下には健康な骨があります。しかし、炎症の範囲がどんどん酷くなり、骨膜や骨髄へ細菌感染すると具合が悪いので、自分で骨を溶かす細胞を出して、骨を自分で溶かして炎症のゾーンから遠ざけている生態の防御反応です。歯周病になるから骨髄炎や骨膜炎にならないで済んでいます。

プラークを取ってあげる、バイオフィームを取ってあげる、ここの炎症を無くしてあげれば、骨を吸収させる必要が無いので、歯槽突起支持骨はいつまでも残ります。どんなにクリーニングしても、抗生剤を飲んでも効きません。それを取るには、バイオフィームで固まっているばい菌をこまめにクリーニングする歯ブラシが、何よりという事になります。

歯ブラシで歯周ポケットの中のバイオフィームを取れますという宣伝がありますが、絶対に取れません。また、洗口剤でもバイオフィームを取る事もできません。それをカバーしているのが、プロによる器械的な清掃で、PMTCというグッズです。

また、体にどのような感染をするかという事です。1990年代にアメリカで心臓疾患の解剖していると、その中に口腔内常在菌が出ました。それにより口腔内常在菌が色々な疾患に影響すると言われはじめました。そこから歯周医学という1つの分野が成長してきました。

糖尿病は歯周病に影響します。糖尿病の方には歯肉炎で軽いものではなく、もう少し重篤な歯周炎が非常に多いです。また、循環器系へ口腔内菌が飛びますと血栓を作ります。血栓を作ることによって心筋梗塞や脳梗塞を起こしやすいと言われています。

老人の死の原因は、肺炎が多いのですが、寝ている時に口腔内の汚いものが間違って肺へ入ってしまい、肺炎に罹患して死んでいきます。また、歯周病がある人の早産や低体重児は、アルコールを飲む人やタバコを吸う人よりもはるかに確率が高いと言われています。それは、口腔内の細菌が酸性を誘導して、子宮を早く収縮させるのが原因です。また、2008年の英国では、48,000人の男性をリサーチし、ガンでの死亡率も歯周病の方は少しだけ高いと言われています。

それ以外に噛み合せというのは、バランスを保ちます。歯があるとパワーがあります。例えば入れ歯の調子が悪いとドライバーの飛距離が下がります。ある程度物を食べられると、顎の関節が動き、その後ろに大きな動脈と神経が通っており、そこを刺激しますので脳への血流量が増します。そうするとボケを防ぐとか、パワーが増す、バランスを良くするという事があります。

第979回例会(11月22日)のご案内

会員卓話 長尾 浅吉さん
於：51F「ジュピター」

■ 11 月度理事会 議事録 ■

報告者 本多 利郎さん

日時 2011年11月8日(火) 17:00～
場所 名古屋マリオットアソシアホテル
17F『パイン』
出席者 山本、伊藤、中西、宮崎、入谷、
榊原、久米、鈴木、武藤、浅井、
東山、木村、本多、細井
オブザーバー：山本

17名中14名参加

◎審議事項

一、出席免除の件 <幹事 入谷 直行さん>
榊原 和美さん
年齢 72歳ロータリー歴 13年 出席免除 ⇒ 承認

◎協議事項

一、ロータリー財団寄付金の件
<ロータリー財団委員長 東山 直史さん>
新入会員は、ポールハリスフェローになっていただくようお願いはするが、強制ではない。

◎報告事項

一、IM 実行委員会構成表の件
<IM 実行委員長 山本 誠一さん>
構成表に基づき、各リーダー中心に進めていく。

一、12 / 22 忘年家族会の件
<親睦活動・家族委員会 本多 利郎さん>
本日案内配布、29日締め切りとする。

一、2012 / 1 / 10 新年ゆったり例会の件
ミッドランド4F 松山閣 松山にて行う。

一、11 / 22 12 / 13 会員卓話の件
<会場運営・プログラム委員会 木村 猛さん>
11 / 22 長尾 浅吉さん
12 / 13 小野 雅之さん、有川 英敏さん

※次回のご案内

12月6日(火)
名古屋マリオットアソシアホテル
17F「パイン」 17:00～